

欧州金融機関へのストレス・テストの結果

井上 武、磯部 昌吾、齋田 温子

■ 要 約 ■

1. CEBS（欧州銀行監督者委員会）は 7 月 23 日に欧州の金融機関 91 行に対して行ったストレス・テストの結果を開示した。今回対象となった 91 行のうち、スペインの貯蓄銀行 5 行、金融危機の際に完全国有化されたドイツの HRE（ヒポ・リアル・エステート）、及びギリシャ農業銀行の 7 行で、合計 35 億ユーロの資本不足が指摘された。
2. EU レベルでのストレス・テストは 2009 年 12 月に次いで二回目となる。今回のストレス・テストは、スペインやドイツなどの中堅金融機関に対する市場の不安の広がりを考慮して、対象行数が 91 行に拡大されたこと、ストレスシナリオにマクロ経済状況の悪化だけでなく、EU 各国のソブリン・リスクを加味したシナリオが追加されたこと、及び各金融機関が保有する EU 各国の政府債残高が開示されたこと等が特徴的である。
3. 前提となるマクロ経済シナリオや、トレーディング勘定での保有残高のみがソブリン・リスクの対象とされたことに対して査定基準の甘さを指摘する向きもある。しかし個別金融機関の結果及び政府債保有残高の開示により、少なくとも分析に必要な情報が一定程度提供されたことは大きな前進と捉えることができよう。欧州の金融市場全体に広がっていた金融機関の信用に対する漠然とした不安がある程度払拭されるものと思われる。
4. その一方で、欧州ではソブリン危機をきっかけに各国が財政削減に一斉に乗り出しており、このことが経済にどのような影響をもたらすかについては、大きく意見が分かれており、依然として不透明感が残っている。周囲の霧は晴れてきたが、前方にはまだ深い霧があるといった状況といえよう。

I 開示された欧州 91 行のストレス・テストの結果

CEBS（欧州銀行監督者委員会）は 7 月 23 日に欧州の金融機関 91 行に対して行ったストレス・テストの結果を開示した¹。今回は対象となった欧州の 91 行のうち 7 行で、合計 35 億ユーロの資本不足が指摘された。

¹ 本稿の内容は、2010 年 7 月 24 日（土）午前 2 時（日本時間）時点での CEBS による開示内容に基づく。

EU レベルでのストレス・テストは 2009 年 12 月に次いで今回で第二回目となる。ストレス・テストは、2009 年 10 月の ECOFIN（欧州連合理事会の経済・財務相理事会）での合意に基づいて、CEBS を中心に ECB（欧州中央銀行）、欧州委員会及び各国監督当局と中央銀行が連携して行っている。ECOFIN は 2009 年 12 月の会合で、欧州銀行システムのバランスシートの健全性、とりわけ資産の質と資本の充実度について少なくとも 6 ヶ月に 1 度のペースで調査結果を提供するよう CEBS に対し要請していた²。

前回のストレス・テストで対象となった金融機関は、国境を越えて活動する欧州の主要な金融機関 26 行のみであり、開示内容も個別金融機関レベルではなく総括のみに留まっていた。今回のストレス・テストも 6 月 18 日の時点では対象行は前回同様に 26 行とされたものの、スペインやドイツなどの中堅金融機関に対して市場の不安が広がる中、EU 各国による交渉の結果、対象となる金融機関の数は 91 行に拡大された。対象行が 91 行となった理由として CEBS は、欧州各国の国内銀行業界の総資産合計の少なくとも 50% をカバーするためとしており、その結果、91 行の総資産の合計は欧州の銀行業界全体の 65% となった。

また想定するシナリオについても、マクロ経済状況の悪化を想定したストレスシナリオだけでなく、景気悪化に EU 各国のソブリン・リスクを加味したシナリオが追加された。更に CEBS は各金融機関がトレーディング勘定と銀行勘定でそれぞれ保有している欧州 30 カ国の政府債の残高（ソブリン・エクスポージャー）も開示する方針を示した。

こうした経緯の背後には、ギリシャ危機をきっかけに、いわゆる PIIGS（ポルトガル、アイルランド、イタリア、ギリシャ及びスペイン）におけるソブリン・リスクが顕在化したことで、欧州の金融機関のバランスシートの健全性に対する懸念が一段と高まっていたことが挙げられる。2010 年 5 月にはスペインの大手銀行 BBVA が、米国の CP 市場で資金調達ができなくなるという事態が発生し、市場における疑心暗鬼が一部の銀行の資金調達に影響を与える状況も見られた。

II ストレス・テストの結果とシナリオの概要

冒頭で述べたとおり、今回ストレス・テストを実施した 91 行のうち、スペインの貯蓄銀行 5 行、ドイツの HRE（ヒポ・リアル・エステート）及びギリシャ農業銀行の計 7 行がソブリン・リスクを含めたストレスシナリオにおいて、合格ラインであるティア 1 比率が 6%³を下回った（図表 1）。これら 7 行の資本不足額の合計は約 35 億ユーロとされている。またソブリン・リスクを想定したシナリオでティア 1 比率が 6% 台に留まった金融機関の数は 24 行あり、その内の 14 行はスペイン勢であるほか、大半が PIIGS の金融機関となった。ちなみにスペインの貯蓄銀行同様に資本不足が懸念されていたドイツの州立銀

² 欧州連合理事会の 2009 年 12 月 2 日付プレスリリース。

(http://www.consilium.europa.eu/uedocs/cms_data/docs/pressdata/en/ecofin/111706.pdf)

³ CEBS は今回のストレス・テストでの 6% という基準はあくまでベンチマークであると説明している。欧州における自己資本比率規制である CRD（資本要求指令）はティア 1 比率の最低水準を 4% と定めている。

図表 1 ストレス・テストの結果、ティア 1 比率が 7%を下回った金融機関^注

対象行	本拠地	現状 2009年末	ベンチマーク シナリオ 2011年末	ストレスシナリオ		資本不足額 (億ユーロ)
				(ソブリンリスクなし) 2011年末	(ソブリンリスクあり) 2011年末	
ディアダ	スペイン	6.6%	6.4%	4.5%	3.9%	10.32
コルドバ貯蓄銀行(カハスール)	スペイン	1.8%	6.6%	4.9%	4.3%	2.08
ギリシャ農業銀行	ギリシャ	8.4%	10.7%	8.9%	4.4%	2.43
UNNIM	スペイン	7.2%	6.6%	5.1%	4.5%	2.70
HRE(ヒボ・リアル・エステート)	ドイツ	9.4%	7.8%	5.3%	4.7%	12.45
バンカ・シピカ	スペイン	9.6%	7.6%	5.2%	4.7%	4.06
エスピーガ	スペイン	8.6%	8.2%	6.1%	5.6%	1.27
ビレウス銀行グループ	ギリシャ	9.1%	10.9%	8.3%	6.0%	
バンコ・バストール	スペイン	10.5%	8.7%	6.8%	6.0%	
カハ・ソル	スペイン	10.3%	8.7%	6.6%	6.0%	
CAI	スペイン	9.4%	8.8%	6.6%	6.1%	
バンコ・ギブスコア	スペイン	9.1%	8.1%	6.6%	6.1%	
北ドイツ州立銀行	ドイツ	7.5%	8.0%	6.4%	6.2%	
モンテ・デ・パスチ・デ・シエナ	イタリア	7.5%	7.6%	6.8%	6.2%	
コルーニャ - カイシャ・デ・ポレンサ	スペイン	9.9%	9.1%	6.6%	6.2%	
NLB(ノヴァ・リュビリヤンスカ・バンカ)	スロベニア	7.5%	7.0%	7.4%	6.3%	
ジュピター	スペイン	8.6%	8.8%	6.8%	6.3%	
アライド・アイリッシュ銀行	アイルランド	7.0%	9.5%	7.2%	6.5%	
ドイツ・ポストバンク	ドイツ	7.1%	7.9%	6.7%	6.6%	
オンティニエンテ貯蓄銀行	スペイン	8.9%	8.4%	6.6%	6.6%	
サラゴサ貯蓄銀行	スペイン	9.4%	9.1%	7.3%	6.7%	
ウビ・バンカ	イタリア	8.0%	7.6%	7.1%	6.8%	
バンクインター	スペイン	7.5%	8.4%	7.6%	6.8%	
ESFG	ポルトガル	7.7%	9.2%	7.4%	6.9%	

(注) ソブリン・リスクを想定したシナリオでのティア 1 比率。

(出所) CEBS 資料より野村資本市場研究所作成

行については、今回のストレス・テストで、ティア 1 比率が 6%台に留まったのは 6.2%の北ドイツ州立銀行の 1 行のみである。

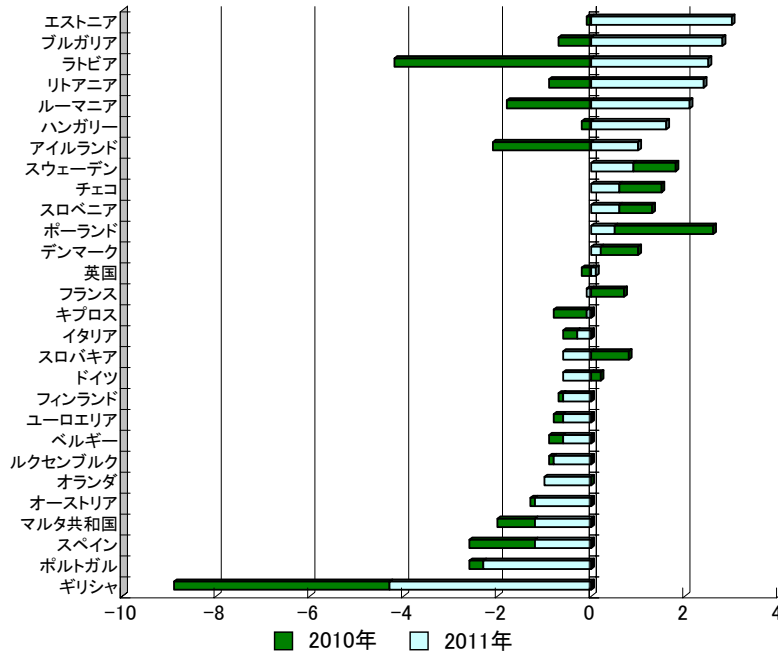
今回のストレス・テストでは、2009 年末時点の連結ベースのティア 1 比率を基に、①ベンチマークシナリオ、②景気悪化のみを想定したストレスシナリオ、及び③景気悪化とソブリン・リスクを想定したストレスシナリオの 3 パターンにおける個別金融機関のティア 1 比率が開示された⁴。

CEBS は総括の中で、それぞれのシナリオについて以下のような説明を行っている。まずベンチマークシナリオでは、ベースとなるマクロ経済シナリオとして欧州委員会が 2009 年 9 月及び 2010 年 2 月に公表した EU の経済予測にその後のマクロ経済の変化を反映させたものを用いている。このマクロ経済シナリオでの EU の GDP 成長率の見通しは、2010 年が前年比+1%、及び 2011 年は同+1.75%である。このほかに失業率、長短金利、為替レート（対米ドル）、消費者物価指数、及び商業用不動産と住宅価格の変化率が盛り込まれている（別表 1 参照）。

次に景気悪化を想定したストレスシナリオについては、GDP 成長率がベースとなるマクロ経済シナリオから 2010 年から 2011 年の 2 年間で 3%ポイント悪化した場合を想定している（図表 2 参照）。すなわち EU の GDP 成長率は、2010 年は前年比横ばい、2011 年は同-0.4%とされ、ユーロ圏については 2010 年が前年比-0.2%、2011 年は同-0.6%とされ

⁴ CEBS は、ストレス・テストの合格基準に 2009 年の米国のストレス・テストで採用されているティア 1 コモンのような普通株資本と内部留保を重視する自己資本ではなくティア 1 を採用した理由について、EU 各国で共通の定義がなく、各国比較が困難になるからであるとしている。

図表 2 ストレスシナリオが想定する GDP 成長率



(出所) CEBS 資料より野村資本市場研究所作成

ている。また長期金利についてはユーロ圏の平均は 2011 年のベンチマークシナリオが 3.8%なのに対して、ストレスシナリオは 5.3%、中でもギリシャが 14.7%と最も高い。他方、不動産価格の変動率を見ると、ストレスシナリオではドイツ、英国、ベルギー及びオランダが前年比 10%の下落を織り込んでいる。不動産価格のシナリオで突出しているのはスペインでストレスシナリオでの商業用不動産価格の変動率は 2010 年が前年比-35.0%、2011 年は-30.0%とされている。なおストレスシナリオでは銀行間貸出市場の緊張を織り込むために、2011 年末までに 3ヶ月物金利が 125bp 上昇するシナリオが描かれている。

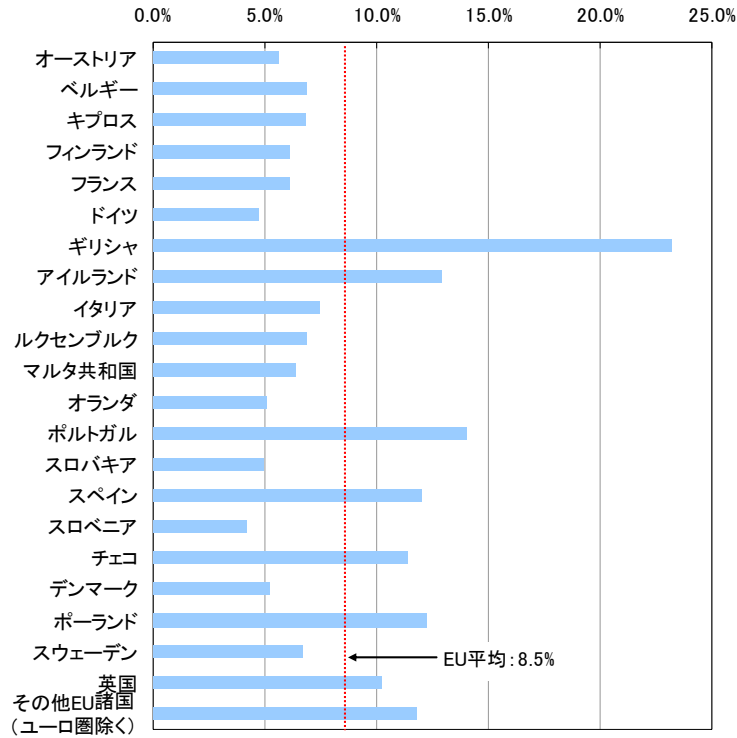
更に今回は景気悪化に加えてソブリン・リスクを想定したストレスシナリオも用いられた。このシナリオでは金融機関がトレーディング勘定で保有する欧州 30 カ国の政府債の残高に対して国別のソブリン・リスクを加味したヘアカット率が適用されている。5 年物政府債のヘアカット率が最も高いのはギリシャで 23.2%、最も低いのはスロベニアで 4.2%、EU の平均値は 8.5%となっている（図表 3 参照）。

ギリシャ危機を発端として金融機関のソブリン・リスクへの懸念が高まったことを受けて、各金融機関がトレーディング勘定と銀行勘定で保有する EU30 カ国の政府債（中央政府及び地方政府が発行する債券）の残高が各国当局もしくは個別の金融機関から開示されている⁵。主要な金融機関における政府債の保有残高を見ると、銀行勘定での保有が大半を占めていることが分かる（図表 4 参照）。また PIIGS のみの残高では、自国債が対象と

⁵ ドイツの 14 行のうち、6 行が開示していない。フィナンシャルタイムズ紙によると、これは BaFin（ドイツ連邦金融監督庁）が政府債保有残高の開示は強制的ではないと判断したためとされている。

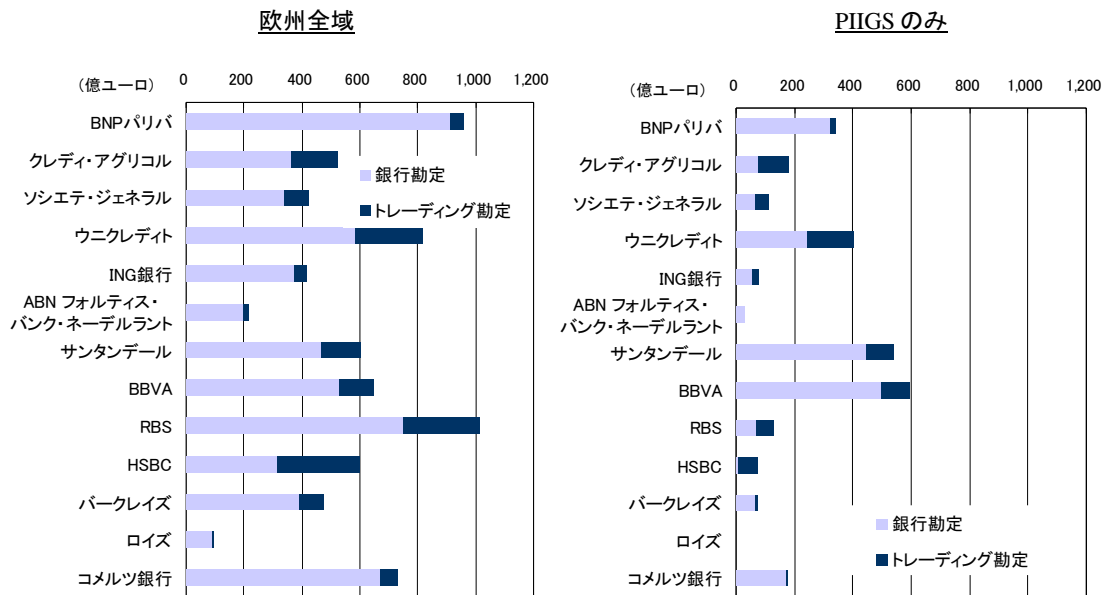
(出所) “Germany accused of renegeing on banks tests”, *Financial Times*, 7/25/2010

図表3 各国の5年物政府債のヘアカット率



(出所) CEBS 資料より野村資本市場研究所作成

図表4 主な銀行のソブリン・エクスポージャー(グロス)



(注) ドイツ銀行は7月24日時点で政府債保有状況を開示していない。なおドイツにおいて今回テストの対象となった金融機関のうち、ドイツ銀行のほかにもポストバンクをはじめ6行が開示を行っていない。

(出所) 各国当局、各社の開示資料より野村資本市場研究所作成

なるスペインのサンタンデル及び BBVA、イタリアのウニクレディトを除くと、フランスの BNP パリバが突出している。

III 今回のストレス・テストへの評価と今後の注目点

今回のストレス・テストでは、開示内容の充実度や統一性、及び前提となるマクロ経済シナリオの厳格さが注目された。

開示内容については、前提となるマクロ経済シナリオに対して CEBS はプレスリリースの中で、20 年に一度のケースを想定したものであり、過去に米国で実施されたストレス・テストと比較しても、十分に厳しい条件であると述べている（図表 5 参照）。なお、景気悪化とソブリン・リスクを想定したストレスシナリオ下では、2010 年から 2011 年にかけての 91 行のトレーディング勘定での損失と銀行勘定での減損による損失の合計額は 5,659 億ユーロとされている。これは 2009 年 5 月に開示された米国政府による大手銀行持ち株会社 19 社を対象としたストレス・テストでの損失額の推計とほぼ同水準である。CEBS は、2 年間で 4,728 億ユーロの減損損失と 259 億ユーロのトレーディング損失、及び 672 億ユーロのソブリン・リスクによる損失（トレーディング勘定でのソブリンの 389 億ユーロの損失を含む）が発生するとしている。その上で CEBS は、対象行全体のティア 1 比率は 2009 年末の 10.3% から、2011 年末には 9.2% に低下すると結論付けている。

また結果として、CEBS からは総括とほぼ同時に個別金融機関の各シナリオにおけるティア 1 比率のデータが開示された（別表 2 参照）。これまで欧州において金融機関の健全性を示す横断的な情報が不足していたことを考慮すると、今回のストレス・テストの開示によって、こうした不透明感がある程度払拭されるとみられる。市場に分析の出発点となるベースを提供したという意味で、CEBS による基本的なシナリオの提示とそれに基づ

図表 5 米英とのストレス・テストの比較

	欧州	米国	英国
公表日	2010年7月23日	2009年5月7日	2009年5月28日(定期的実施)
対象数	91社	19社	非公開
ストレス期間	2010~2011年	2009~2010年	2009~2013年
ストレス条件	GDP成長率が、2010年と2011年にそれぞれ0%、-0.4%となり、2011年末時点で3ヶ月物金利が1.25%、10年物金利が0.75%それぞれ上昇、保有するソブリンのヘアカット率の増加(ソブリンショック)など	2年間で、住宅ローン(第一抵当)が7~8.5%、商業用不動産ローンが9~12%、商工業ローンが5~8%、クレジットカード債権が18~20%の損失率となるなど	GDPが6.9%、住宅価格が50%、商業用不動産価格が60%それぞれピーク時より下落、失業率が12.5%
基準比率	ティア1比率6%以上	ティア1比率6%以上、ティア1コモン比率4%以上	コアティア1比率4%以上
総推計損失額	5,659億ユーロ (うちソブリンショックによる損失が672億ユーロ)	5,992億ドル	非公開
資本不足行(合計不足額)	7行(35億ユーロ)	10行(746億ドル)	非公開

(注) 英国のストレス・テストは、FSA による通常の監督業務の一環として行われたものであるが、2009 年 5 月のテスト結果は、その後の英国財務省による RBS とロイズに対する資産プロテクションスキーム (APS) 実施に当たって参照された。

(出所) CEBS 資料及び各種報道等より

く結果の統一的な開示の効果は大きいといえるだろう。

他方ソブリン・ショックを考慮したシナリオでは、金融機関が保有する政府債はトレーディング勘定での保有残高のみが対象とされ、残高の大きい銀行勘定での保有（図表 4 参照）は除外されたことで、査定基準の甘さを指摘する向きもある。これは今回のテストでは欧州における政府債のデフォルトは事実上想定されていないためである。確かにこの点については疑問を呈する声もあるが、2010 年 5 月 9 日に、欧州ではソブリン危機対応として、総額 7,500 億ユーロ（うち 4,400 億ユーロは 3 年の時限措置）の金融安定化パッケージが導入されており、今回ストレス・テストの対象とされた 2 年間についてはデフォルトのリスクは相当程度抑えられているのも事実である。また、今回は政府債保有残高の情報も 91 行すべてではないものの開示されたことから、少なくとも市場参加者にとって分析に必要な情報が一定程度提供されたことは大きな前進と捉えることができよう。

なお、資本不足が指摘された 7 行については今後の資本強化策や再編が今後の焦点の一つとなる。例えばスペイン中央銀行は 23 日付のプレスリリースの中で、既に BBK（ビルバオ・ビルカヤ・クチャ）への統合が決まっているカハスールを除く貯蓄銀行 4 行に対しては、まずは市場での資本調達を検討したうえで、必要とあれば FROB（「秩序ある銀行再建のための基金」）を通じて資本を注入する用意があると述べている。また金融機関の側でも、バンカ・シビカがストレス・テストを前に JC フラワーズに対して転換社債を発行し、4.5 億ユーロを調達すると発表するなど、自力での資本強化の動きも見られる⁶。

他方、先般の金融危機の際に完全国有化された HRE（ヒポ・リアル・エステート）について、ドイツのショイブレ財務相は、HRE は現在再建中であり、今回のストレス・テストではそのことは考慮されていないため、HRE は例外的な事例と考えているとコメントしている。なお HRE で指摘された約 12 億ユーロの資本不足は、既に決定している連邦政府からの資本注入の一部がまだ実施されていないためであると報じられている。またショイブレ財務相は、州立銀行については想定外に良好な結果が出たが、いずれにしても更なる再編に向け前進しなければならない状況にある、と州立銀行業界の再編の必要性を指摘した。

なお 6%をクリアしたものの、ストレス・テストの結果、自己資本が相対的に不十分であることが判明した銀行について、今後、自己資本増強の動きが広がることが予想される。こうした動きは既にストレス・テストの結果が開示される前から始まっている。例えばギリシャの NBG（ギリシャ・ナショナル銀行）が劣後債発行により 4.5 億ユーロの資本を調達しているほか、スロベニアの最大手銀行 NLB は割当て増資により 4 億ユーロを調達する計画を発表している。

過去に英国及び米国で実施されたストレス・テストでも、ストレスシナリオの厳格さなどについて多くの批判の声が挙がったものの、その後一定の期間をおいて、株価及び銀行に対する信用不安は収まったと見られる（図表 6 参照）。今回のストレス・テストにおいても、個別の金融機関の相対的な状況が明らかとなることで、欧州の金融市場全体に広

⁶ “Spain says financial system is solid”, *Financial Times*, 7/23/2010

図表 6 英国及び米国のストレス・テストを受けた市場の反応



(注) 英国銀行は FTSE All-Share Bank 指数、米国はフィラデルフィア KBW 銀行株指数、欧州銀行はダウジョーンズ STOXX600 銀行指数。
 (出所) ブルームバーグより野村資本市場研究所作成

がっていた金融機関の信用に対する漠然とした不安がある程度払拭されるものと思われる。その一方で、欧州ではソブリン危機をきっかけに各国が財政削減に一斉に乗り出しており、このことが経済にどのような影響をもたらすかについては、大きく意見が分かれており、依然として不透明感が残っている。周囲の霧は晴れてきたが、前方にはまだ深い霧があるといった状況といえよう。

別表1 国別のマクロ経済シナリオ
ベンチマークシナリオ

	GDP成長率		失業率		短期金利		長期金利		消費者物価		住宅価格		商業用不動産価格	
	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年
	(%)													
オーストリア	1.1	1.5	6.0	5.7	1.2	2.1	4.0	4.3	1.3	1.6	2.0	2.7	2.0	2.7
ベルギー	0.6	1.5	9.9	10.3	1.2	2.1	4.0	4.4	1.3	1.5	-3.0	-3.0	-3.0	-3.0
キプロス	0.1	1.3	6.6	6.7	1.2	2.1	4.7	5.1	3.1	2.5	-2.0	2.0	-2.0	2.0
フィンランド	0.9	1.6	10.2	9.9	1.2	2.1	3.5	3.9	1.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
フランス	1.2	1.5	10.2	10.0	1.2	2.1	3.8	4.1	1.2	1.4	-4.5	-2.5	-4.5	-2.5
ドイツ	1.2	1.7	9.2	9.3	1.2	2.1	3.5	3.8	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ギリシャ	-4.1	-2.6	11.7	14.1	1.2	2.1	6.8	7.1	1.4	2.1	-3.0	0.0	-3.0	0.0
アイルランド	-1.4	2.6	14.0	13.2	1.2	2.1	5.1	5.4	-0.6	1.0	-13.0	-2.5	-14.0	-6.0
イタリア	0.7	1.4	8.7	8.7	1.2	2.1	4.4	4.7	1.7	2.0	-0.7	0.3	-0.7	0.3
ルクセンブルク	1.1	1.8	7.3	7.7	1.2	2.1	3.8	4.2	1.8	1.7	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
マルタ共和国	0.7	1.6	7.4	7.3	1.2	2.1	4.5	4.9	2.0	2.2	1.6	2.5	1.6	2.5
オランダ	0.9	1.6	5.4	6.0	1.2	2.1	3.8	4.1	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ポルトガル	0.5	0.2	11.1	11.9	1.2	2.1	4.7	5.1	1.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
スロバキア	1.9	2.6	12.8	12.6	1.2	2.1	4.1	4.6	1.9	2.5				
スロベニア	1.3	2.0	8.3	8.5	1.2	2.1	3.9	4.4	1.7	2.0	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
スペイン	-0.6	1.0	20.0	20.5	1.2	2.1	4.4	4.7	1.1	2.0	-3.8	-5.2	-20.0	-15.0
ユーロエリア	0.7	1.5	10.7	10.9	1.2	2.1	3.5	3.8	1.1	1.5				
ブルガリア	0.4	4.0	8.8	8.0			6.9	6.9	2.4	2.5				
チェコ	1.4	1.8	8.1	8.5			4.7	4.4	1.4	1.8				
デンマーク	1.5	1.8	5.8	5.6	2.1	2.9	3.8	4.1	1.5	1.8	0.2	2.0	0.2	2.0
エストニア	1.0	4.0	16.0	14.5			12.1	12.1	1.3	1.1				
ハンガリー	0.9	3.2	11.8	11.9			8.4	6.2	4.9	3.0	-10.0	-3.0	-5.0	0.0
ラトビア	-3.3	3.9	20.4	18.2			12.7	12.7	-3.4	0.2				
リトアニア	0.5	3.1	17.1	15.9			12.1	12.1	0.4	1.7				
ポーランド	2.9	2.4	10.4	11.5	4.8	5.7	6.3	6.3	1.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
ルーマニア	-0.7	3.6	8.1	8.8			9.4	9.4	4.3	2.4				
スウェーデン	1.4	2.1	10.2	10.1	1.4	2.8	3.6	3.9	1.7	1.7	5.0	0.0	0.0	-2.5
英国	0.6	1.9	8.7	8.0	1.5	3.0	4.3	4.7	2.4	1.6	2.0	1.0	0.0	0.0
その他	1.0	2.2	9.2	8.9					2.3	1.7				

ストレスシナリオ

	GDP成長率		失業率		短期金利		長期金利		消費者物価		住宅価格		商業用不動産価格	
	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年
	(%)													
オーストリア	-0.1	-1.2	6.1	6.1	2.1	3.3	4.5	5.3	1.5	1.0	2.0	2.7	2.0	2.7
ベルギー	-0.3	-0.6	9.9	11.1	2.1	3.3	4.8	5.6	1.2	0.6	-10.0	-10.0	-10.0	-10.0
キプロス	-0.7	-0.1	6.7	7.3	2.1	3.3	5.4	6.3	3.1	2.1	-2.0	2.0	-2.0	2.0
フィンランド	-0.1	-0.6	10.4	11.4	2.1	3.3	4.0	4.9	1.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
フランス	0.7	-0.1	10.2	10.5	2.1	3.3	4.3	5.1	1.2	1.0	-4.5	-4.5	-4.5	-4.5
ドイツ	0.2	-0.6	9.2	9.7	2.1	3.3	4.0	4.7	0.7	0.6	-10.0	-10.0	-10.0	-10.0
ギリシャ	-4.6	-4.3	11.8	14.8	2.1	3.3	11.8	14.7	1.4	2.1	-5.0	-2.0	-5.0	-2.0
アイルランド	-2.1	1.0	14.1	13.7	2.1	3.3	6.7	7.8	-0.6	0.7	-17.0	-5.0	-17.0	-8.0
イタリア	-0.3	-0.3	8.8	9.3	2.1	3.3	5.4	6.3	1.7	1.7	-1.6	-2.0	-1.6	-2.0
ルクセンブルク	-0.1	-0.8	7.3	7.7	2.1	3.3	4.6	5.5	1.8	1.4	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
マルタ共和国	-0.8	-1.2	7.6	8.2	2.1	3.3	5.1	6.0	1.8	1.6	1.6	2.5	1.6	2.5
オランダ	0.0	-1.0	5.5	7.0	2.1	3.3	4.3	5.1	0.8	1.0	-10.0	-10.0	-10.0	-10.0
ポルトガル	-0.3	-2.3	11.3	12.8	2.1	3.3	7.0	8.5	1.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
スロバキア	0.8	-0.6	12.9	13.2	2.1	3.3	4.5	5.4	1.8	1.4				
スロベニア	0.7	0.6	8.5	9.1	2.1	3.3	4.4	5.3	1.8	1.9	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
スペイン	-1.4	-1.2	20.3	21.6	2.1	3.3	5.8	6.8	1.0	1.2	-8.8	-15.2	-35.0	-30.0
ユーロエリア	-0.2	-0.6	10.8	11.5	2.1	3.3	4.4	5.3	1.1	1.1				
ブルガリア	-0.7	2.8	9.2	8.4			8.0	8.0	2.0	0.5				
チェコ	0.9	0.6	8.6	9.6			5.8	5.8	0.9	0.9				
デンマーク	0.8	0.2	6.0	6.3	3.0	4.1	4.4	5.1	1.2	1.2	-7.0	-1.6	-7.0	-1.6
エストニア	-0.1	3.0	16.4	14.8			13.2	13.2	0.9	-1.0				
ハンガリー	-0.2	1.6	12.6	13.2			9.5	9.5	4.8	2.5	-13.0	-8.0	-8.0	-5.0
ラトビア	-4.2	2.5	20.7	18.8			13.8	13.8	-3.9	-3.6				
リトアニア	-0.9	2.4	17.6	16.3			13.2	13.2	-0.2	-2.3				
ポーランド	2.1	0.5	10.7	12.2	5.7	7.0	7.4	7.6	2.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
ルーマニア	-1.8	2.1	8.5	9.2			10.5	10.5	3.9	1.2				
スウェーデン	0.9	0.9	10.2	10.3	2.4	4.1	4.3	4.9	1.3	1.2	-7.5	-12.5	-12.5	-15.0
英国	-0.2	0.1	9.1	8.8	2.4	4.2	5.0	5.7	2.4	0.6	-10.0	-10.0	-10.0	-10.0
その他	0.2	0.5	9.6	9.6					2.3	0.9				

(注) 為替レートは、どちらのシナリオでも 1 ドル=0.7 ユーロ、1 ドル=0.6 ポンド (ユーロとポンド以外の為替レートは省略)。

(出所) CEBS 資料より野村資本市場研究所作成

別表2 国別の結果一覧

本拠地	対象行	現状		ベンチマークシナリオ		ストレスシナリオ		資本不足額 (億ユーロ)
		2009年末		2011年末		(ソプリリスクなし) 2011年末	(ソプリリスクあり) 2011年末	
オーストリア(2)	ライファイゼン銀行グループ	9.3%		10.6%		7.9%		7.8%
	エルステ・グループ	9.2%		10.4%		8.1%		8.0%
ベルギー(2)	KBC銀行	10.9%		12.2%		9.8%		9.4%
	デクシア	12.3%		13.4%		11.2%		10.9%
キプロス(2)	マーフィン・コンピュータ銀行	9.4%		10.0%		8.5%		7.1%
	キプロス銀行	10.5%		10.9%		9.4%		8.0%
デンマーク(3)	ダンスケ銀行	11.7%		11.7%		10.8%		10.0%
	ユスケ銀行	13.5%		14.1%		12.8%		12.5%
	シト銀行	13.1%		14.8%		13.4%		13.2%
フィンランド(1)	OP・ポ・ヨウ・グループ	12.6%		13.4%		12.5%		12.3%
フランス(4)	BPCE	9.1%		10.2%		8.7%		8.5%
	クレディ・アグリコル	9.7%		10.6%		9.2%		9.0%
	BNPパリバ	10.1%		11.4%		9.7%		9.6%
	ソシエテ・ジェネラル	10.7%		11.9%		10.2%		10.0%
ドイツ(14)	ヒポリアル・エステート・ホールディングス	9.4%		7.8%		5.3%		4.7%
	北ドイツ州立銀行	7.5%		8.0%		6.4%		6.2%
	ドイツ・ポスト・バンク	7.1%		7.9%		6.7%		6.6%
	ウエストLB	14.4%		12.4%		8.9%		7.1%
	ヘッセン・チューリンゲン州立銀行	8.8%		8.9%		7.9%		7.3%
	バーデン・ビュルデンベルグ州立銀行	9.8%		9.8%		8.4%		8.1%
	Deka銀行	9.8%		11.1%		9.5%		8.4%
	DZ銀行	9.9%		10.4%		9.2%		8.7%
	バイエルンLB	10.9%		11.9%		9.1%		8.8%
	コメルツ銀行	10.5%		10.5%		9.3%		9.1%
	WGZ銀行	9.7%		10.8%		9.5%		9.1%
	ドイツ銀行	12.6%		13.2%		10.3%		9.7%
	HSH/ルトバンク	10.5%		14.9%		9.9%		9.7%
	ベルリン州立銀行	13.3%		12.8%		11.3%		11.2%
ギリシャ(6)	ギリシャ農業銀行	8.4%		10.7%		8.9%		4.4%
	ピレウス銀行グループ	9.1%		10.9%		8.3%		6.0%
	ギリシャ・ナショナル銀行	11.3%		11.7%		9.6%		7.4%
	EFYユーロバンク	11.2%		11.7%		10.2%		8.2%
	アルファ銀行	11.6%		12.3%		10.9%		8.2%
	TTヘルニツク・ポストバンク	17.1%		17.0%		15.0%		10.1%
ハンガリー(2)	OTP銀行	13.8%		18.0%		16.8%		16.2%
	FHB銀行	8.6%		14.1%		10.8%		10.6%
アイルランド(2)	アライド・アイルリッシュ銀行	7.0%		9.5%		7.2%		6.5%
	アイルランド銀行	9.2%		9.0%		7.6%		7.1%
イタリア(5)	モンテ・デ・パステ・デ・シエナ	7.5%		7.6%		6.8%		6.2%
	ウピ・バンカ	8.0%		7.6%		7.1%		6.8%
	バンコ・ポポラーレ	7.7%		7.8%		7.4%		7.0%
	ウニクレディ	8.6%		10.0%		8.1%		7.8%
インテサ・サンパオロ	8.3%		9.8%		8.8%		8.2%	
ルクセンブルク(2)	ライファイゼン銀行	8.5%		9.8%		8.4%		8.2%
	BOEE銀行	11.4%		14.2%		11.5%		11.3%
マルタ共和国(1)	バレッタ銀行	10.5%		11.5%		11.0%		9.3%
オランダ(4)	ING銀行	10.2%		11.2%		9.1%		8.8%
	ABN/フォルティス・バンク・ネーデルラント	13.0%		12.0%		10.3%		9.9%
	SNS銀行	10.7%		12.0%		10.8%		10.5%
	ラボバンク・グループ	14.1%		14.8%		12.7%		12.5%
ポーランド(1)	PKOバンク・ポルスキ	13.3%		16.5%		15.7%		15.4%
ポルトガル(4)	ESFG	7.7%		9.2%		7.4%		6.9%
	ポルトガル貯蓄信用銀行	8.4%		9.1%		8.4%		8.2%
	ミレニアムBCP	9.3%		9.4%		8.4%		8.4%
	BPI銀行	8.5%		11.6%		10.3%		10.2%
スロベニア(1)	ノヴァ・リュブリヤンスカ・バンク(NLB)	7.5%		7.0%		7.4%		6.3%
スウェーデン(4)	ハンデルス・バンケン	9.1%		10.2%		9.1%		8.9%
	スウェド・バンク	10.4%		10.7%		10.5%		9.9%
	ノルデア銀行	10.2%		11.3%		10.2%		10.1%
	SEB	12.4%		11.8%		10.7%		10.3%
スペイン(27)	ディアダ	6.6%		6.4%		4.5%		3.9%
	コルドバ貯蓄銀行(カハスール)	1.8%		6.6%		4.9%		2.08
	UNNIM	7.2%		6.6%		5.1%		2.70
	バンカ・シピカ	9.6%		7.6%		5.2%		4.7%
	エスピーガ	8.6%		8.2%		6.1%		5.6%
	バンコ・バスター	10.5%		8.7%		6.8%		6.0%
	カハ・ソル	10.3%		8.7%		6.6%		6.0%
	CAI	9.4%		8.8%		6.6%		6.1%
	バンコ・ギブスコア	9.1%		8.1%		6.6%		6.1%
	コルーニャ - カイシャ・デ・ポレンサ	9.9%		9.1%		6.6%		6.2%
	ジュビター	8.6%		8.8%		6.6%		6.3%
	オンティニエンテ貯蓄銀行	8.9%		8.4%		6.6%		6.6%
	サラゴサ貯蓄銀行	9.4%		9.1%		7.3%		6.7%
	バンクインター	7.5%		8.4%		7.8%		6.8%
	ポプラーレ・エスパニョル銀行	9.1%		9.2%		7.5%		7.0%
	マレ・ノストルム	9.0%		9.7%		7.6%		7.0%
	アラバ・ビクトリア貯蓄銀行	11.3%		9.5%		7.5%		7.0%
	バンコ・デ・サバデル	9.0%		9.6%		7.7%		7.2%
	フレオガン	8.6%		10.1%		7.8%		7.2%
	ラ・カイシャ	10.3%		10.6%		8.5%		7.7%
CAM	9.3%		10.5%		8.4%		7.8%	
ウニカハ	11.8%		11.8%		9.8%		9.0%	
BBVA	9.4%		10.6%		9.6%		9.3%	
サンタンデル	10.0%		11.0%		10.2%		10.0%	
サンセバスティアン・ギブスコア貯蓄銀行	13.0%		12.6%		11.1%		10.6%	
ビルバオ・ビルカヤ・クチャ	14.6%		17.4%		14.7%		14.1%	
バンカ・マーチ	19.7%		20.8%		19.5%		19.0%	
英国(4)	ロイズ	9.6%		10.8%		9.4%		9.2%
	HSBC	10.8%		11.7%		10.4%		10.2%
	RBS	14.4%		14.1%		11.7%		11.2%
	パークレイズ	13.0%		15.8%		13.9%		13.7%

(出所) CEBS 資料より野村資本市場研究所作成